

平成20年11月13日

各 位

上場会社名 株式会社 グローベルス
 代表者 代表取締役社長 久永 真一
 (コード番号 3528)
 問合せ先責任者 取締役 牛川 好明
 (TEL 03-3470-8411)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	3,300	△260	△400	△410
今回発表予想(B)	3,346	△2,524	△2,639	△4,124
増減額(B-A)	46	△2,264	△2,239	△3,714
増減率(%)	1.4	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	8,176	680	554	554

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	14,000	500	220	200
今回発表予想(B)	11,000	△2,900	△3,100	△4,600
増減額(B-A)	△3,000	△3,400	△3,320	△4,800
増減率(%)	△21.4	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	14,160	969	696	73

修正の理由

(1)第2四半期累計期間

当不動産業界は、昨年6月施行の建築基準法の改正に伴う建築確認の長期化、地価や建築費の高騰に起因する販売価格の上昇、および米欧をはじめとする国際金融市場の混乱に起因する世界規模の株価下落を背景とした金融収縮の顕在化など、市場環境が急激に変化しており、マンション購買意欲の減退あるいは買い控えの傾向が更に進んでおります。

こうした厳しい事業環境のもと、当社におきましても、主力である分譲マンション事業では、売れ行きの鈍化や販売期間の長期化により利益率が低下いたしました。この厳しい事業環境は当面続くものと思われ、今後の販売を順調に推進させるために、当期の売上商品に加え次期以降の売上商品を含む全てのたな卸不動産について評価の見直しを行い、評価損として20億19百万円を計上いたしました。また、繰延税金資産につきましては、その全額であります14億27百万円を取り崩しいたしました。その結果、第2四半期累計期間の業績は、営業損失は25億24百万円、経常損失は26億39百万円、当期純損失は41億24百万円となりました。

たな卸不動産の評価損の計上および繰延税金資産の取崩し等によって多額の損失を計上することとなりますが、財務体質の強化により、将来のすみやかな業績回復に備えるものであります。

(2)通期

通期の市場動向と業績予想を上記の第2四半期累計期間と同様に見込んでいることから、通期の経常損失は31億円、当期純損失は46億円となる見通しであります。

<業績等の予想に関する注意事項>

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。

以上